

Techpoint, Inc

2019年12月期 第1四半期 決算説明資料



証券コード: 6697
東証マザーズ
2019年5月



I 2019年12月期 第1四半期決算の概要

II 2019年12月期業績予想の概要

III 今後の成長戦略

IV 参考資料





I 2019年12月期 第1四半期決算の概要

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上1米ドル=110.99円で換算された金額であります。





|| 車載向けが前期比200%も、中国市場の冷え込みの影響を受け、当会計期間は期初想定通り減収減益で着地

売上高は、5百万米ドル（557百万円）：前期比28.8%の減収

- + 当1Qの売上高は、中国市場の冷え込み（主に監視カメラ向けの買い控え）により、半導体出荷数が前年同期比16%減少、製品構成変化（単価の低い半導体製品の出荷割合の増加）による平均販売価格16%の減少により、前期比28.8%減少。
- + 当期の車載カメラシステム向け半導体の売上は前期比200.1%の1,531千米ドル（170百万円）。
⇒ 車載カメラシステム向け半導体の当社市場占有率が拡大。
- + 当期の営業利益は、△710千米ドル（△79百万円）。
うち、336千米ドルは株式報酬費用。
⇒ 期初見通しどおり、監視カメラ向け半導体の出荷減による売上総利益の減少。
- + 当期純利益は、△618千米ドル（△69百万円）。
株式報酬費用控除前の当期純利益（Non-GAAP指標）では、△332千米ドル（△37百万円）。
- + H.264からH.265への移行に伴う在庫調整は、今1Q期間で一服。





売上高、売上総利益、営業利益などの対前年同期比較

単位：千米ドル（千円）

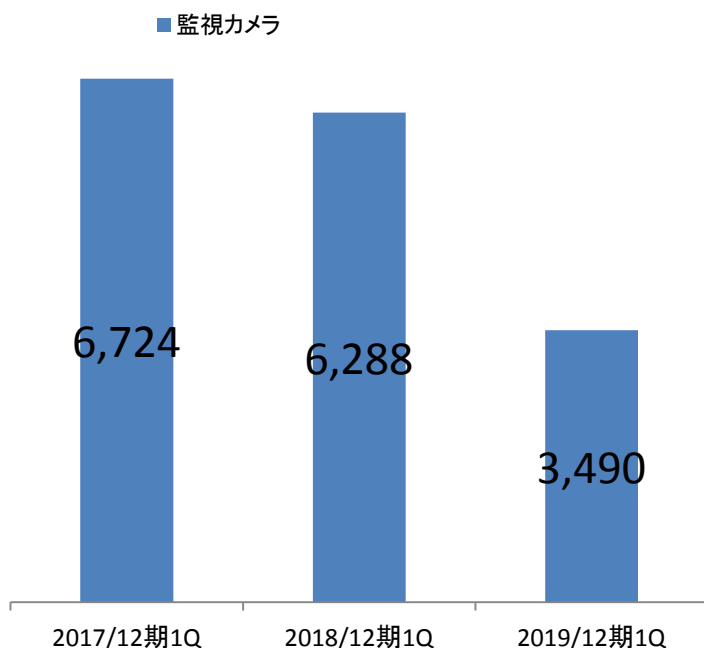
| 科目 | 2018/12期 1Q実績 | | 2019/12期 1Q実績 | | |
|----------------------|--------------------|-------|--------------------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減率 |
| 売上高 | 7,053 (782,812) | 100% | 5,021 (557,281) | 100% | △28.8% |
| 売上総利益 | 3,768 (418,210) | 53.4% | 2,435 (270,261) | 48.5% | △35.4% |
| 営業利益 | △64 (△7,104) | △0.9% | △710 (△78,803) | △14.1% | - |
| 税引前四半期 純利益 | 325 (36,071) | 4.6% | △723 (△80,246) | △14.4% | - |
| 四半期純利益 | 473 (52,498) | 6.7% | △618 (△68,592) | △12.3% | - |
| 四半期純利益 (Non-GAAP) | 721 (80,024) | 10.2% | △332 (△36,849) | △6.6% | - |



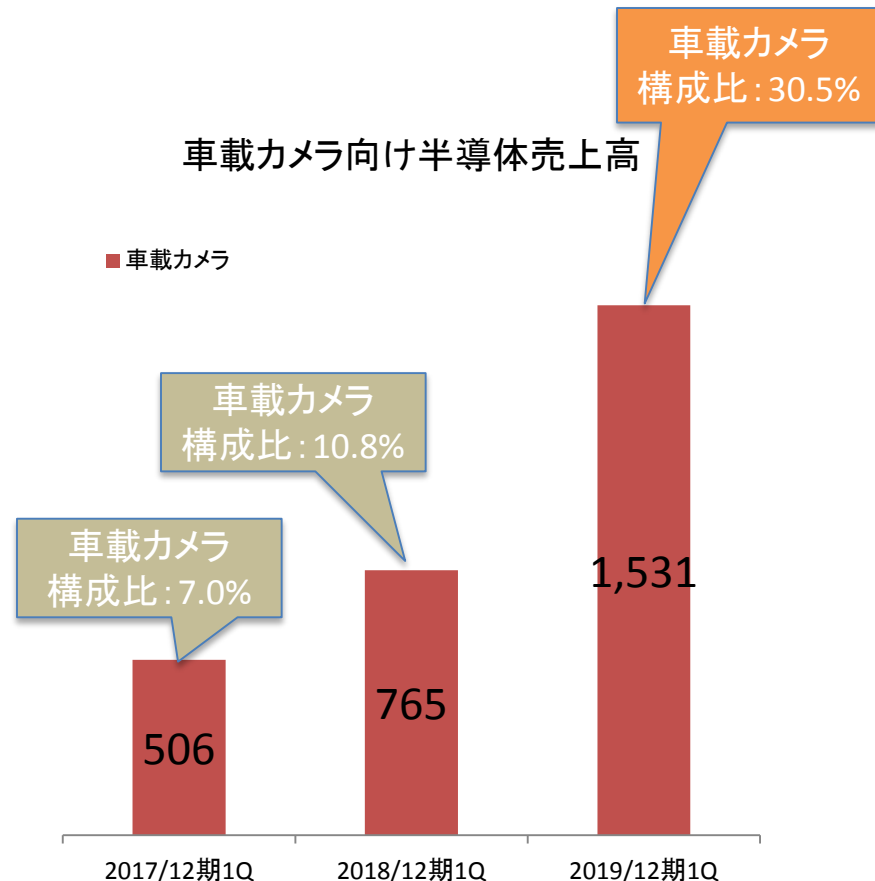


車載カメラ向け半導体が伸び、構成比は30.5%に

監視カメラ向け半導体売上高



車載カメラ向け半導体売上高

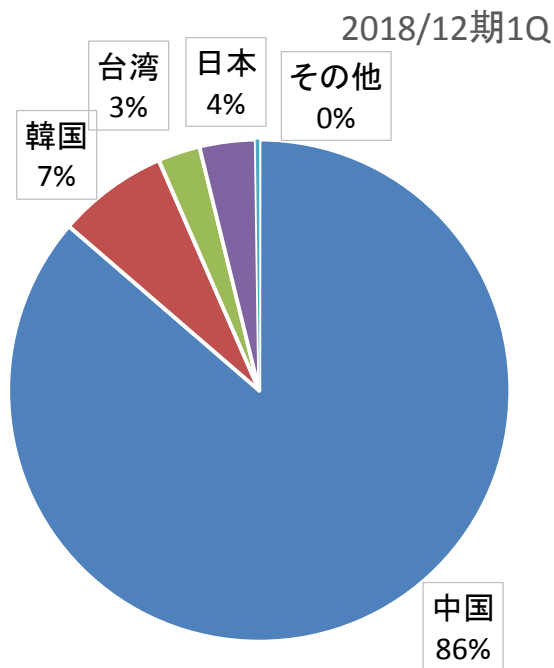


単位：千円

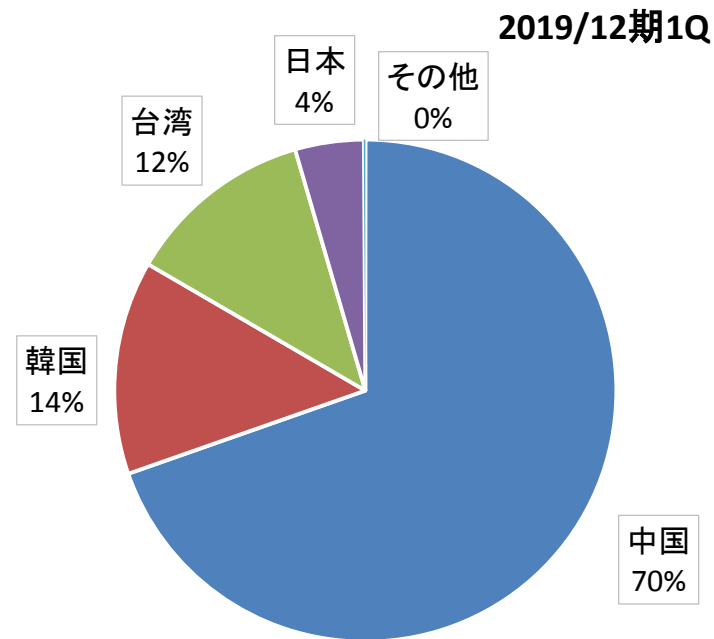




地域別の売上比率は前年同期と比べ、中国が減少、韓国・台湾が増加



■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ 日本 ■ その他



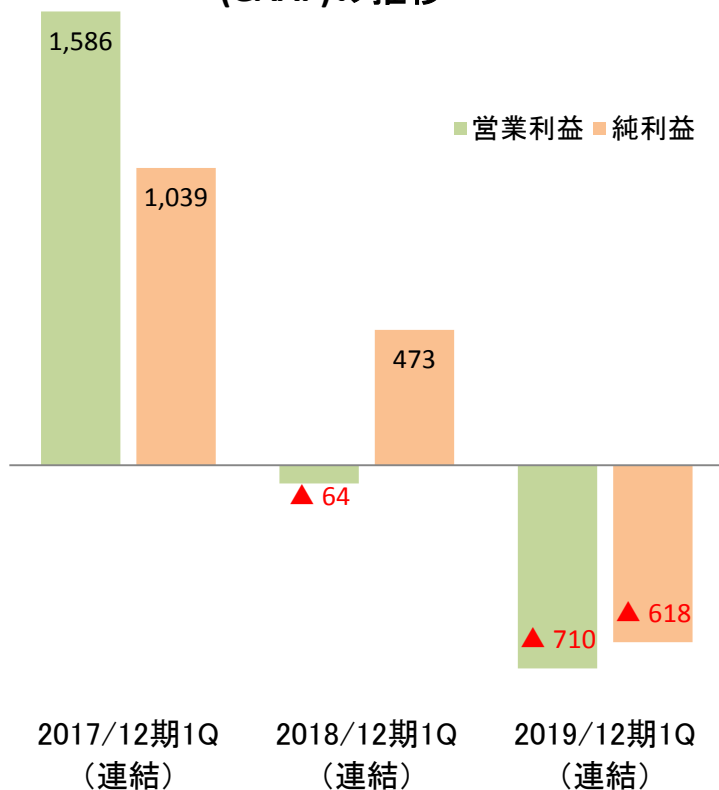
■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ 日本 ■ その他



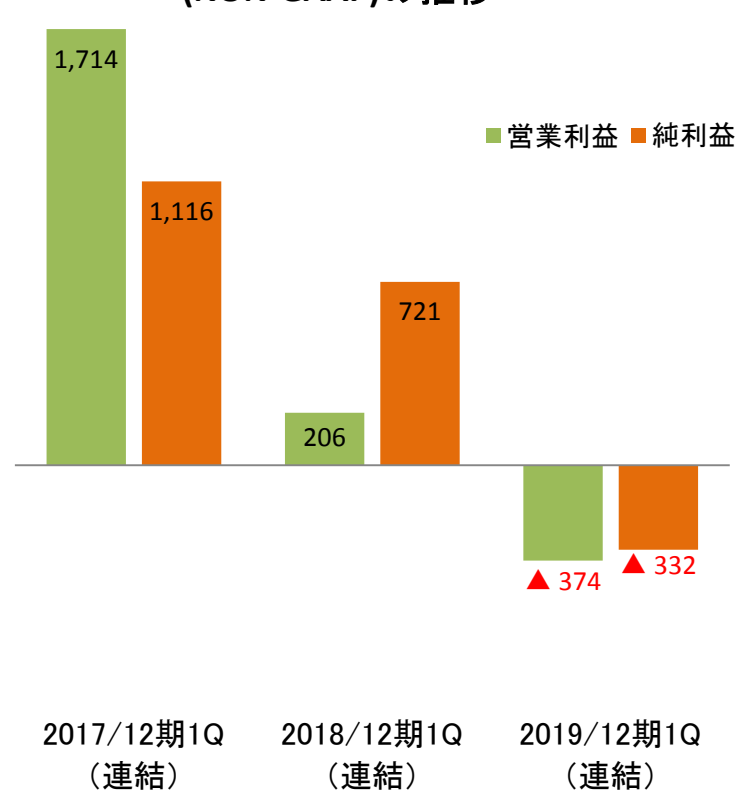


単位: 千米ドル

営業利益・四半期純利益・営業利益率 (GAAP)の推移



営業利益・四半期純利益・営業利益率 (NON-GAAP)の推移



2019年12月期1Qの3か月間の株式報酬費用は336千米ドル。これを除いた調整後営業損失 (Non-GAAP指標) は374千米ドル、期間実効税率14.52%の税効果考慮後の調整後当期純損失 (Non-GAAP指標) は332千米ドルとなります。





○台湾車載機器メーカー「チーメイモーター社」のドライブレコーダーの次期シリーズに、映像受信用半導体「TP282xシリーズ」が採用

⇒最大4チャンネルの映像信号が処理可能。従来の手法に比べ、ノイズや干渉などに強く、高画質かつ高い信頼性を担保した高品質な映像処理を実現

○台湾大手車載ディスプレイメーカー「ジョインリンク社」の2019年モデル向けの車載用ハイビジョンサラウンドビューシステムに映像受信用半導体「TP2854」が採用

⇒主要な車載用システムオンチップ（SOCs）とシームレスに接続できるインターフェースを備え、様々なSoCsと接続して活用可能。車載カメラから送られてきたハイビジョンおよびフルハイビジョンの映像信号を受信する半導体で、最大4チャンネルの映像信号を処理可能





Ⅱ 2019年12月期業績予想の概要

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。
日本円表記は、便宜上1米ドル＝110.99円で換算された金額を表示しております。





売上5.3%増、営業利益32.7%増と増収増益の見込み、 監視向けは中国市場冷え込みで需要減も、車載向けが92%増と伸長

- + 通期売上高は、対前期比5.3%増の32,745千米ドル（3,634百万円）を予想。1Qは大幅に落ち込むも、2Qから下半期にかけて回復する見込み（比率は上半期：36.7%、下半期63.3%を予想）
- + 車載カメラシステム市場向け半導体の売上は対前期比92.4%増の9,183千米ドル（1,019百万円）と大幅増を予想。日本やアジアの車載機器メーカーによるリアカメラやカーナビ、ドライブレコーダーなどの採用件数増加。
- + 監視カメラシステム市場向け半導体の売上は、対前期比で10.5%減を予想。監視カメラシステムメーカーの多くが中国市場冷え込みによる売上減を予想しているため。
- + 営業利益は、対前期比32.7%増の2,408千米ドル（267百万円）を見込む。車載向け半導体の売上伸長がプラス要因に。
- + 当期純利益は、対前期比0.8%増の1,900千米ドル（211百万円）を予想。株式報酬費用控除前の当期純利益（Non-GAAP指標）は3,035千米ドル（336百万円）を予想。
- + EPS（1株当たり利益）は0.11米ドル（12円）を見込む。株式報酬費用控除前の当期純利益（Non-GAAP指標）ベースのEPSは0.18米ドル（20円）を予想。





通期売上高は、対前期比5.3%増の32,745千米ドル（3,634百万円）を予想

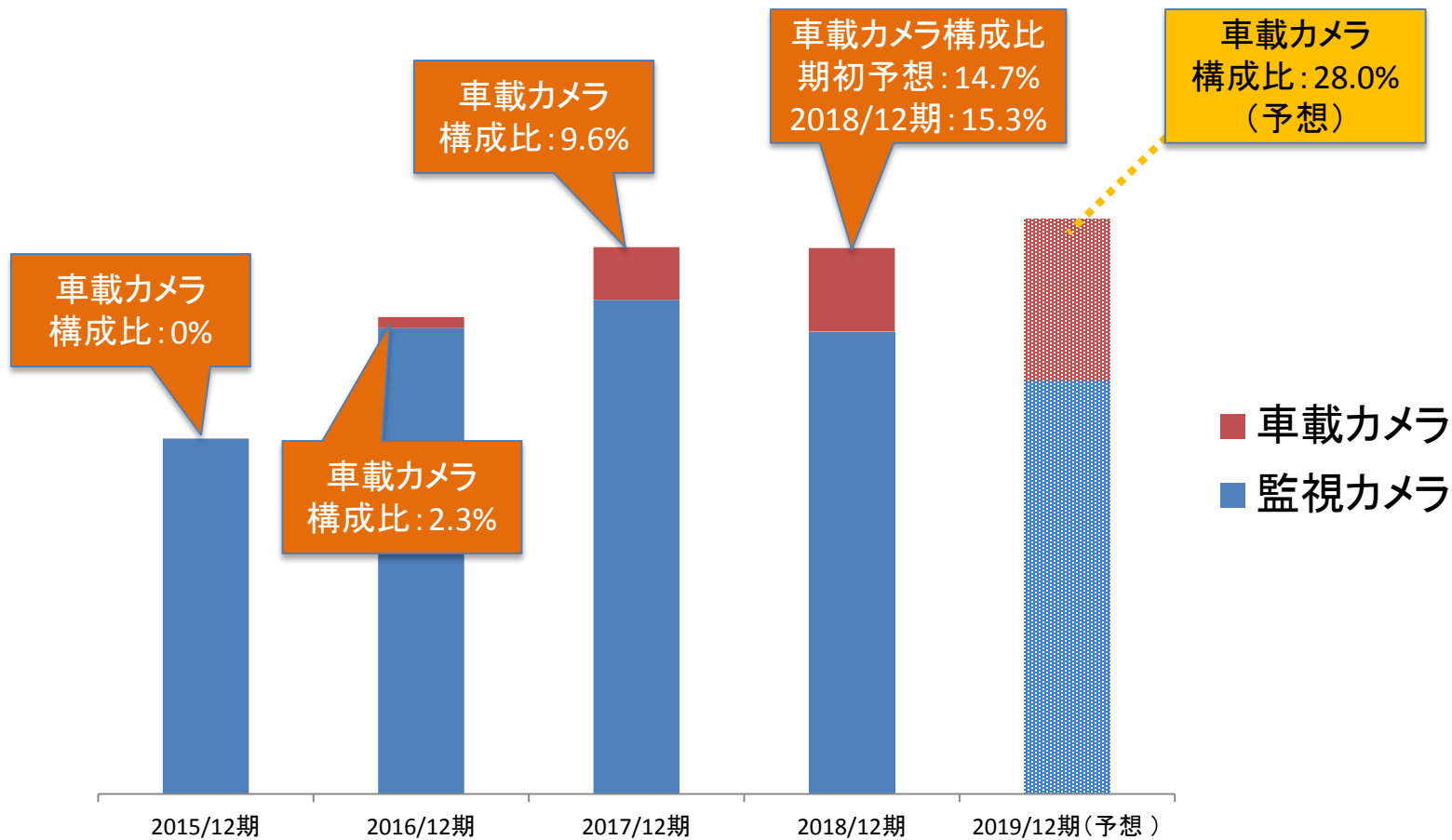
単位：千米ドル（千円）

| 科目 | 2018/12期実績 | | 2019/12期 業績予想 | | | |
|---------------------|-----------------------|-------|-----------------------|-------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 通期予想 | 構成比 | 増減 | 増減率 |
| 売上高 | 31,098 (3,451,567) | 100% | 32,745 (3,634,368) | 100% | +1,647 | +5.3% |
| 売上総利益 | 15,782 (1,751,644) | 50.7% | 16,506 (1,832,001) | 50.4% | +724 | +4.6% |
| 営業利益 | 1,815 (201,447) | 5.8% | 2,408 (267,264) | 7.4% | +593 | +32.7% |
| 税引き前当期純利益 | 2,044 (226,864) | 6.6% | 2,432 (269,928) | 7.4% | +388 | +19.0% |
| 当期純利益 | 1,885 (209,216) | 6.1% | 1,900 (210,881) | 5.8% | +15 | +0.8% |
| 当期純利益 (Non-GAAP) | 3,143 (348,842) | 10.1% | 3,035 (336,855) | 9.3% | △108 | △3.4% |





車載カメラ向け半導体の比率は、今期大幅な増加を予想





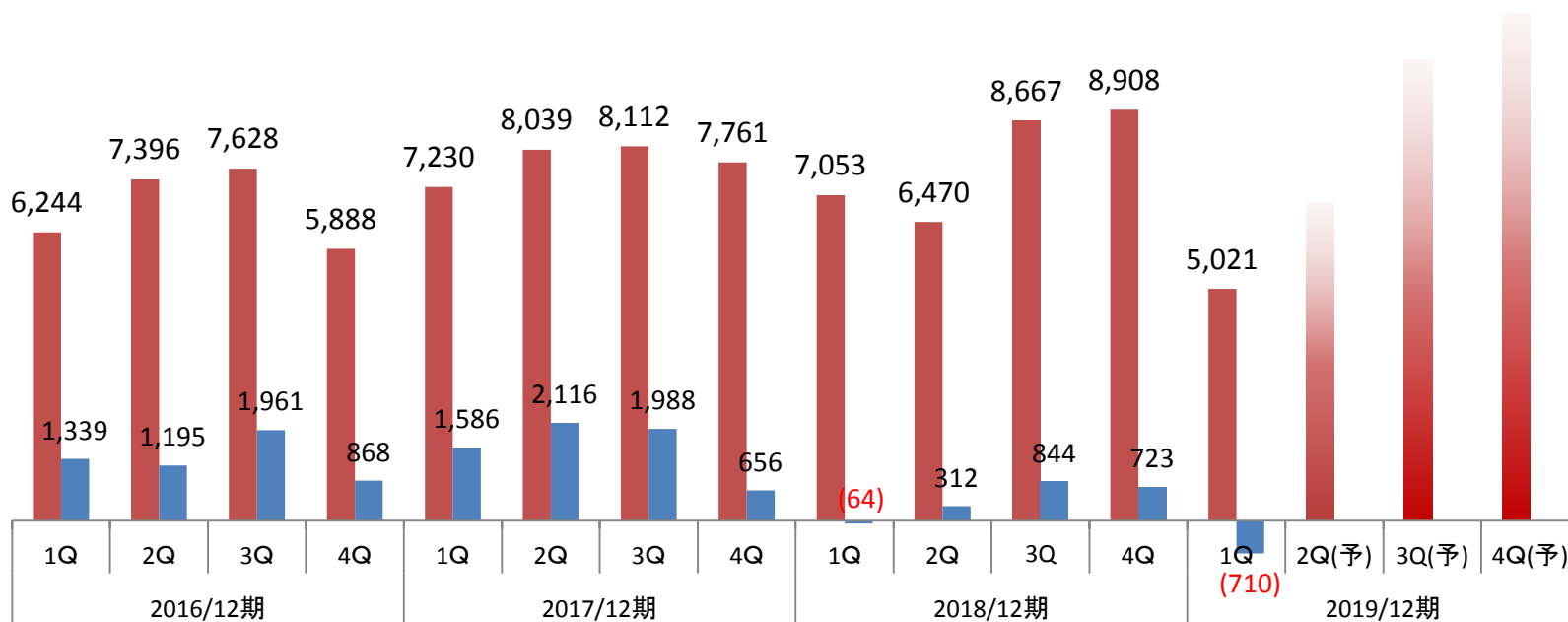
2018/12期は下期に売上高が拡大

2019/12期1Qは、ほぼ当初想定どおりの進捗、在庫調整は一服

2Q以降、車載向けがけん引し、下半期に向けて売上拡大トレンドを予想

単位：千円

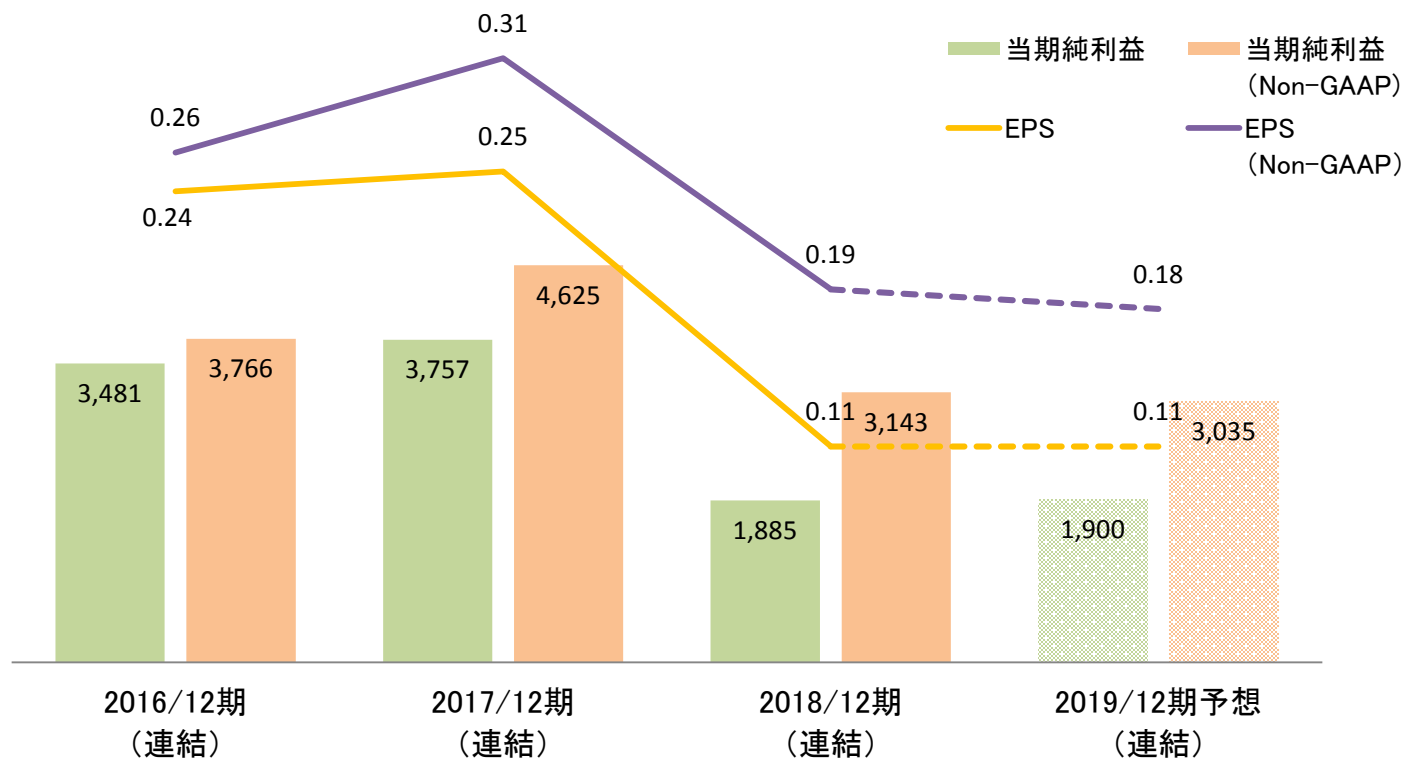
■ 売上高 ■ 営業利益





当期純利益 (GAAP・Non-GAAP) 1株当たり当期純利益 (GAAP・Non-GAAP) の推移

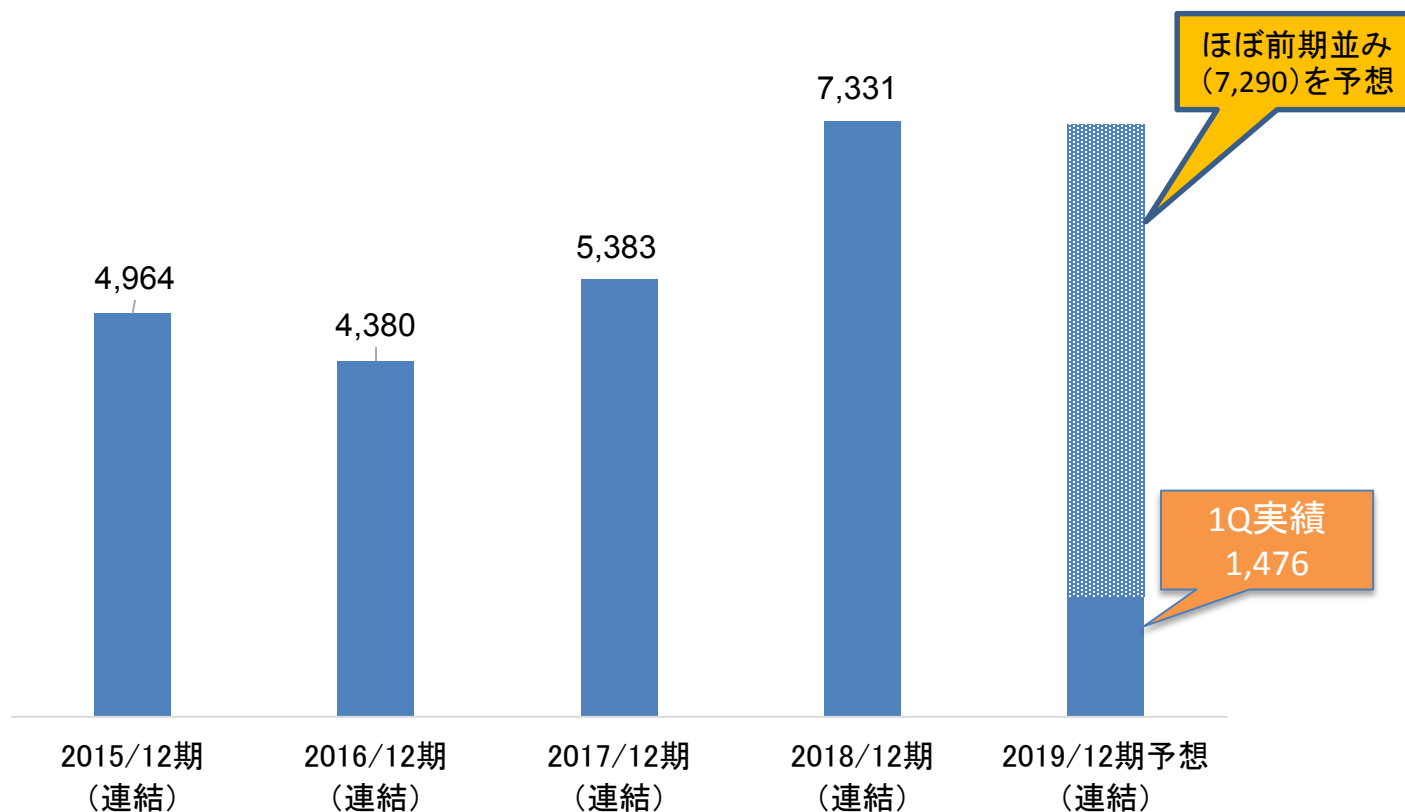
単位: 千米ドル
(EPSは米ドル)





2018/12期は成長加速に向け、研究開発費を前期比約4割積み増し
2019/12期の研究開発費は、ほぼ横ばいの見込み
⇒競争力強化・成長継続に向けた投資を積極的に実施

単位：千米ドル





19年度以降の成長エンジンとなり得る戦略商品 他社への競争優位をさらに大きくする狙い

開発案件の例

- 💡 音声対応のTxおよびRx用半導体製品 ⇒ 複数のメーカーへの採用が決定、19年12月期下半期の量産出荷を予定
- 💡 4k解像度に対応したISP+Tx ⇒ 一部のメーカーに向け量産出荷中
- 💡 液晶ディスプレイコントローラー ⇒ 一部のメーカーに向け量産出荷中
- 💡 CMOSイメージセンサー ⇒ エンジニアリングサンプル（社内評価用サンプル）が完成、性能評価中





- 中国車載機器メーカー「YFオートモーティブ社」のフルハイビジョン対応電子ミラーの新製品に、液晶ディスプレイコントローラー「TP6806」が採用決定



⇒小型化、映像の高解像度化、低コスト化の両立を実現した液晶ディスプレイコントローラー。
スペースが限られるカーナビや電子ミラーのハイビジョン対応に最適





Ⅲ 今後の成長戦略





監視カメラシステム向け半導体

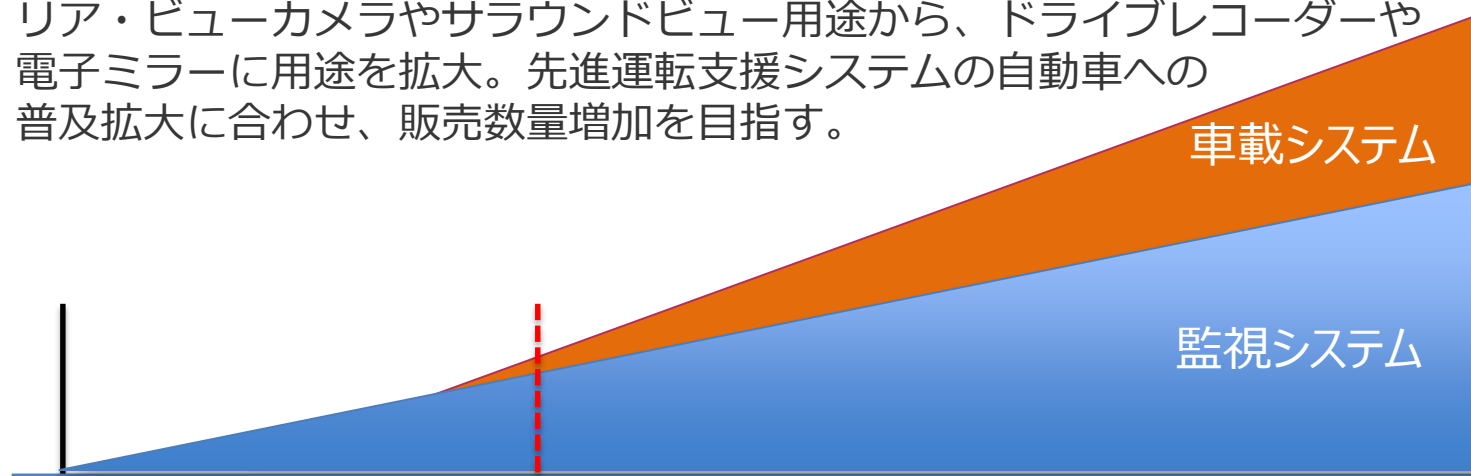


将来的には、CMOSセンサーまで含め、半導体とセンサーを一気通貫供給できる業界唯一の存在を目指す。競争力を強化し、市場占有率を高める。

車載カメラシステム向け半導体

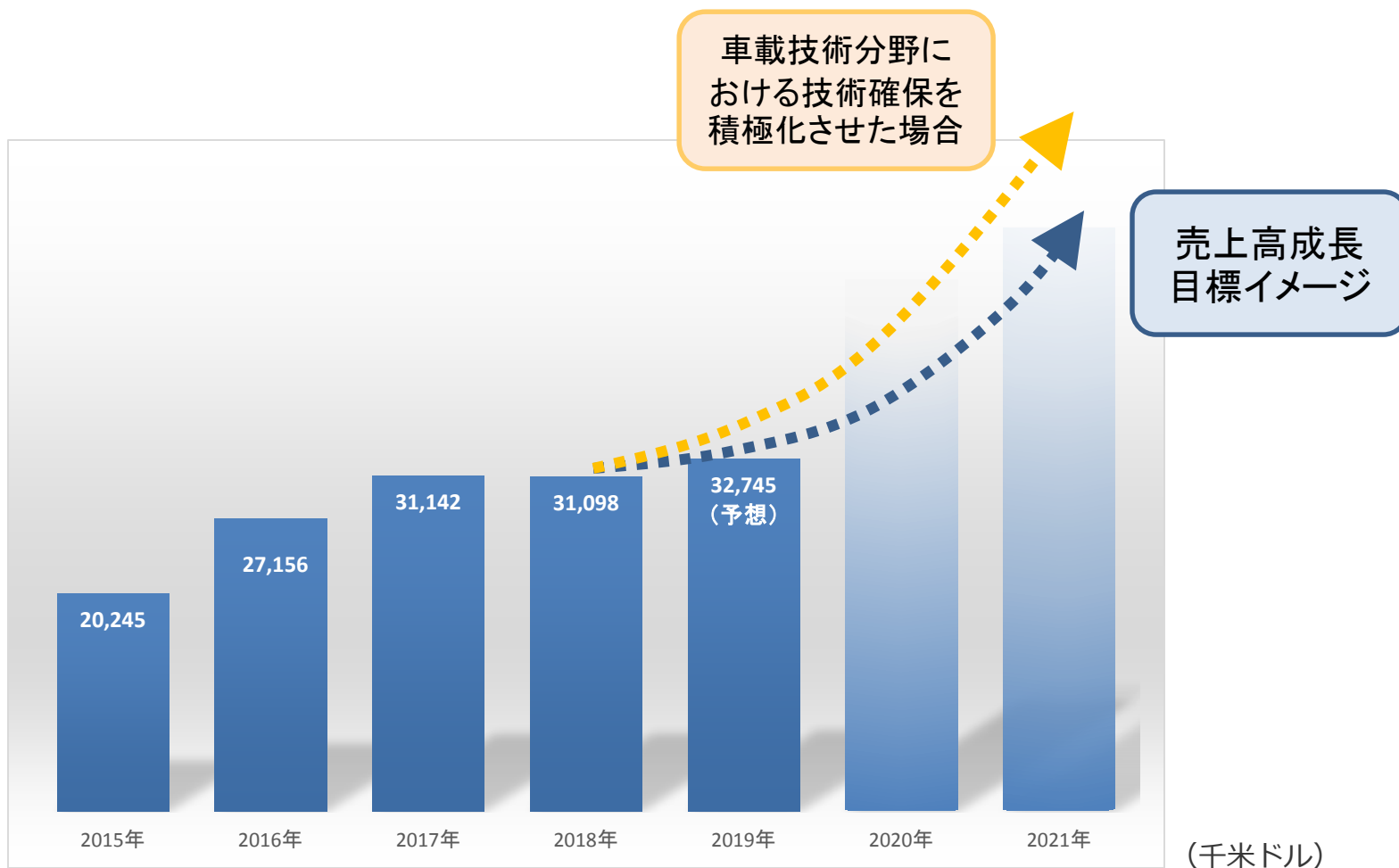


リア・ビューカメラやサラウンドビュー用途から、ドライブレコーダーや電子ミラーに用途を拡大。先進運転支援システムの自動車への普及拡大に合わせ、販売数量増加を目指す。



現在





2019年12月期は、車載カメラシステム分野において、M&Aも視野に含めた技術の取得に注力する方針





IV 參考資料





会社名 Techpoint, Inc. (テックポイント・インク)

代表者 小里文宏 (こざとふみひろ)

本社住所 2550 N. 1st St., Suite 550 , San Jose, Ca. 95131 U.S.A.

設立 2012年4月11日 (2012年10月 研究開発開始)

株主資本 28,631千米ドル (2018年12月末現在)



拠点 サンノゼ、サンディエゴ、東京、深圳、台北、ソウル

従業員数 73名 (2019年3月末現在)

事業内容 監視(防犯)カメラシステムと車載カメラシステム向け
半導体の設計及び販売

監査法人 BDO International Ltd.

業績 売上高 31百万米ドル、当期純利益 1.88百万米ドル
(2018年12月期連結)





- 2012年 4月 カリフォルニア州法に基づき米国カリフォルニア州サンノゼ市に会社設立
- 10月 研究開発を開始
- 2013年 9月 HD監視カメラシステム事業への参入を目的として米国コネクサント社のSDI事業を買収
- 10月 サンディエゴ事務所開設（米国カリフォルニア州サンディエゴ市）
- 12月 中国事務所開設（中国広東省深圳市）
- 2014年 2月 韓国事務所開設（韓国京畿道城南市）
- 5月 独自規格のHD解像度クラスの映像送信用、受信用半導体HD-TVIを初出荷
- 2015年 11月 開発・技術サポート及び日本における人材確保を主な目的として、当社100%子会社である日本法人「株式会社テックポイントジャパン」を設立（東京都渋谷区）
- 2016年 1月 ■ 株式会社テックポイントジャパンの本店を移転（東京都港区）
■ ISO9001規格及びISO14001規格合格
- 3月 ■ 車載向けAEC-Q100規格合格（該当製品名：TP2801及びTP2825）
■ 台湾事務所開設（台湾台北市）
- 4月 顧客、技術サポートを主な目的として、中国事務所を法人化し、当社100%子会社である中国法人「科点科技（深圳）有限公司」（テックポイントチャイナ）を設立（中国広東省深圳市）
- 2017年 7月 設立準拠法をデラウェア州法に変更
- 9月 当社JDR（日本版預託証券）が東京証券取引所マザーズ市場に上場



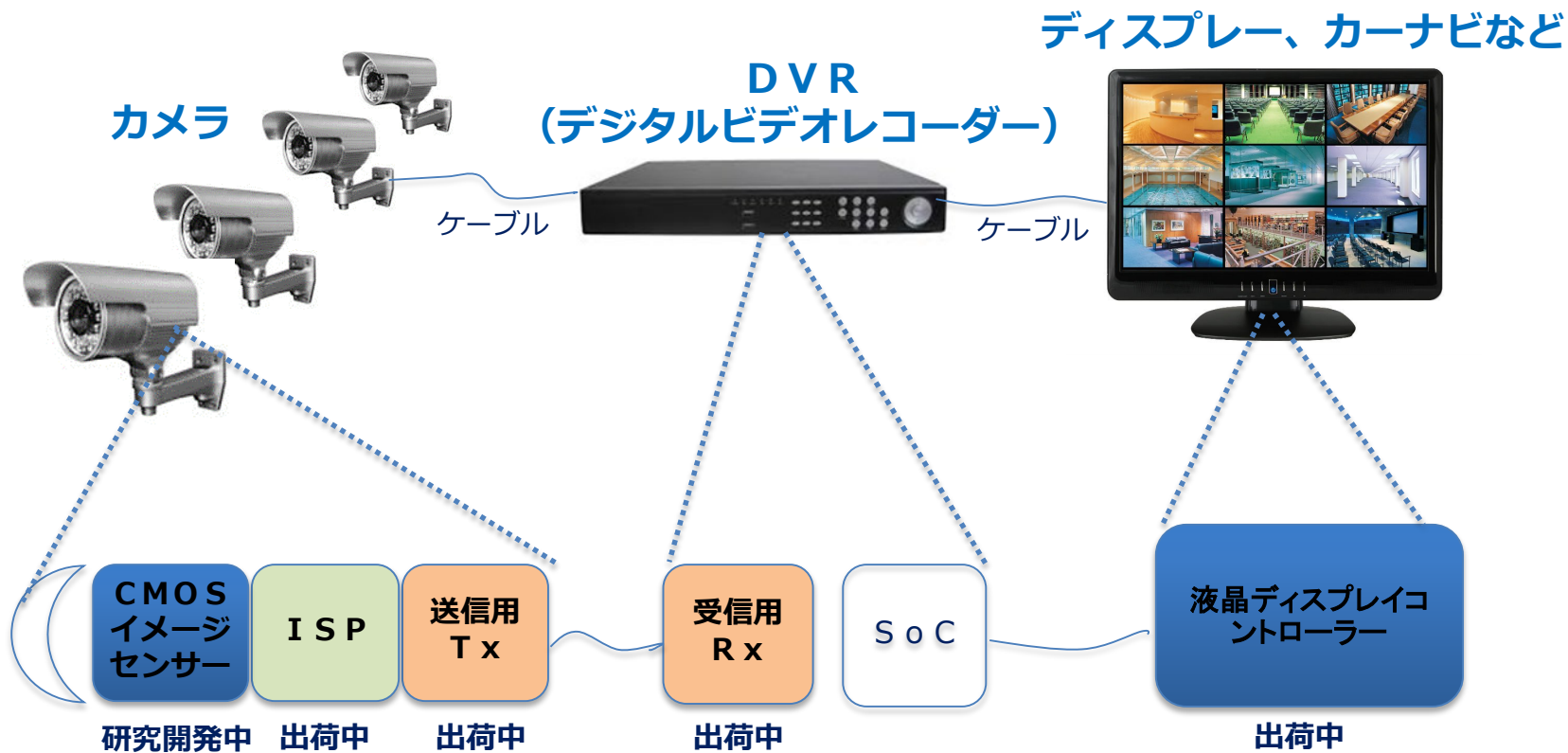


監視(防犯) カメラシステム及び車載カメラシステム向け 受送信半導体の開発及び販売

監視カメラシステム向け半導体

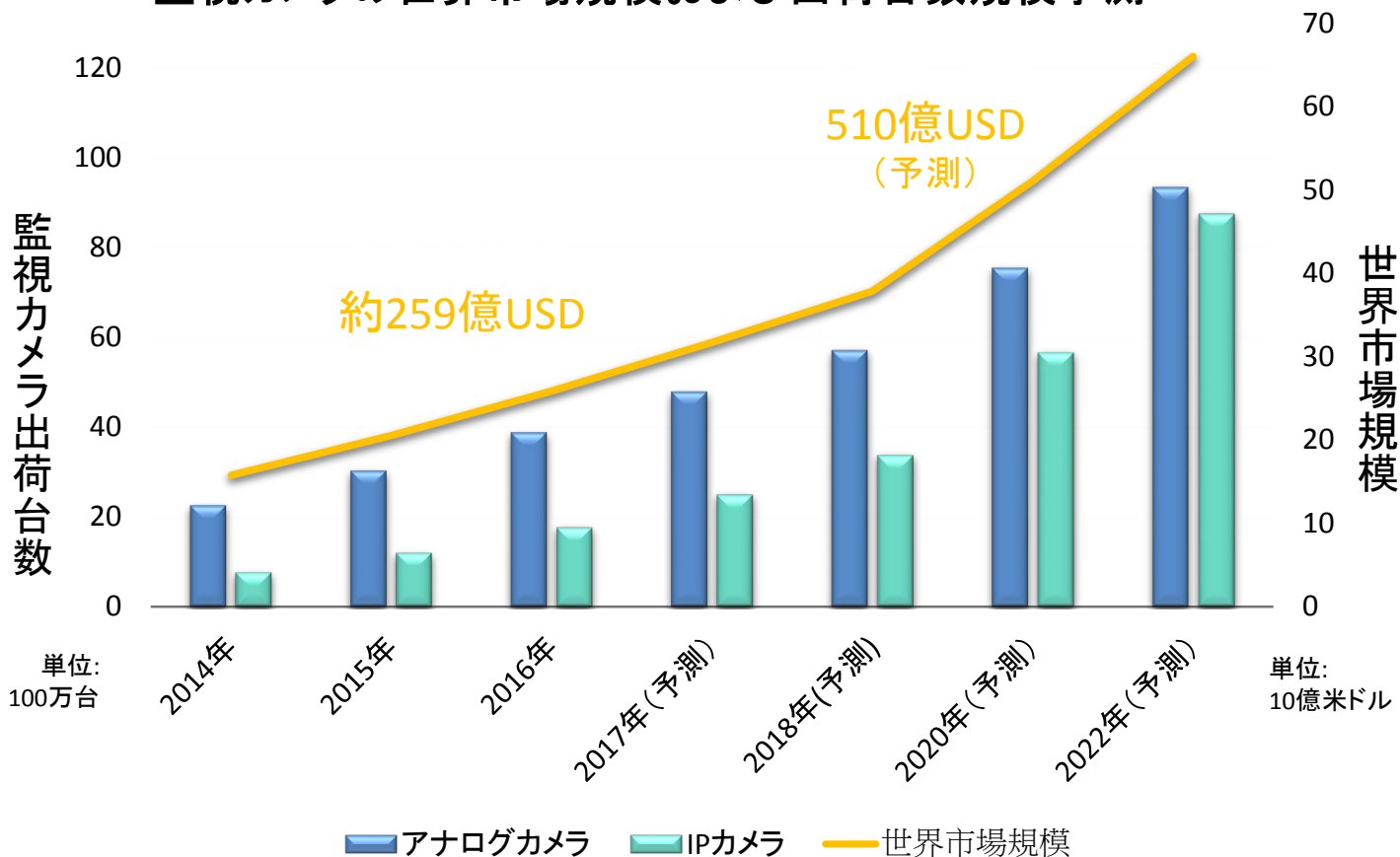
車載カメラシステム向け半導体





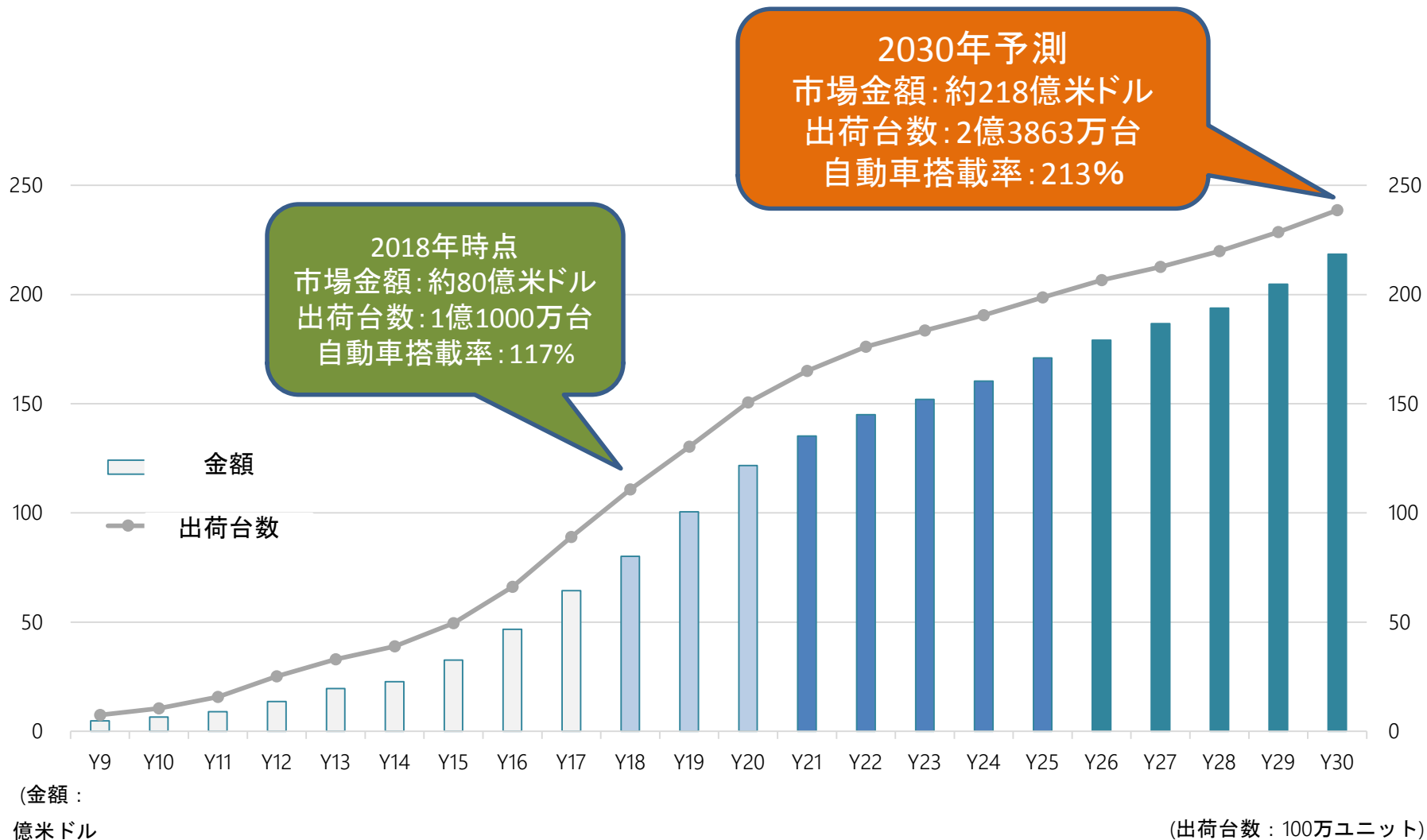


監視カメラの世界市場規模および出荷台数規模予測



米MarketsandMarketsの調査レポート
 「Video Surveillance Market Global Forecast to 2022」
 2017年3月より





出所: Techno Systems Researchの調査レポート
「Automotive Camera Market Analysis 2018」より当社作成





| 株価推移 | 2018年12月期 | 2019年12月期 | | | |
|---------|-----------|-----------|----|----|----|
| | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 高値（円） | 2,615 | 1,129 | | | |
| 安値（円） | 450 | 507 | | | |
| 期末終値（円） | 553 | 754 | | | |

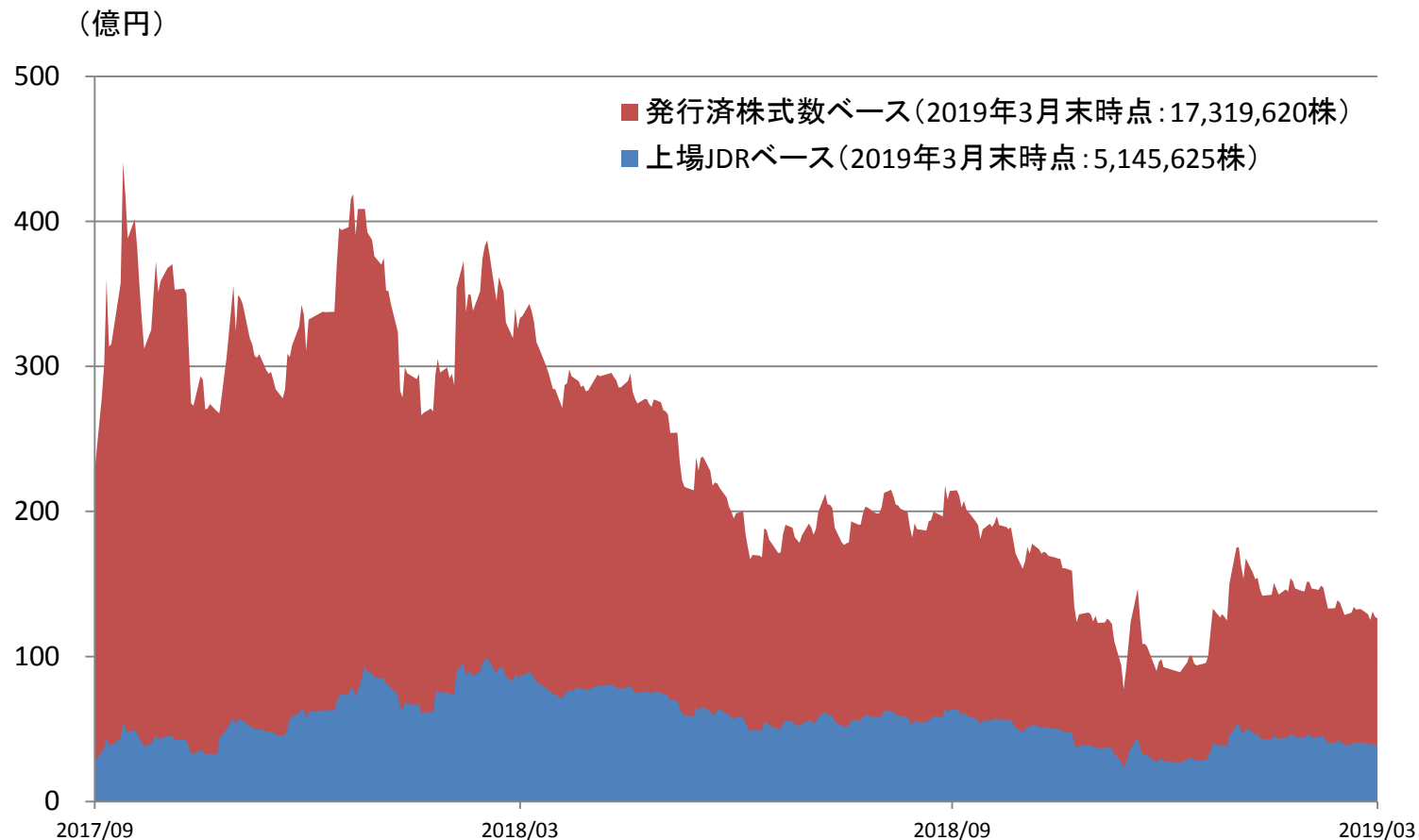
| 株価指標等 (発行済株式数ベース) | 2018年12月期 | 2019年12月期 | | | |
|----------------------|-----------|-----------|----|----|----|
| | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 時価総額（億円） | 92 | 126 | | | |
| 予想PER（倍） | 50.3 | 62.8 | | | |
| PBR（倍） | 3.3 | 4.1 | | | |
| ROE（%） | 7.0 | ※一 | | | |

※ROEについては、四半期の利益では適正に算出できないため記載しておりません。

| 換算為替レート | 2018年12月期 | 2019年12月期 | | | |
|----------|-----------|-----------|----|----|----|
| | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| USドル/日本円 | 111.00 | 110.99 | | | |

注：株価指標等はBloombergなどのデータを基に算出しています。





出所：Quick、Bloombergのデータより当社作成





本資料は、当社グループの企業情報の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部又は一部を当社グループの承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできません。

本資料のうち、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、実際の結果は本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

なお、本資料における記述は本資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社グループの企業情報以外の情報は、当社が公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等については当社は何らの検証も行っておりません、また、これを保証するものではありません。

